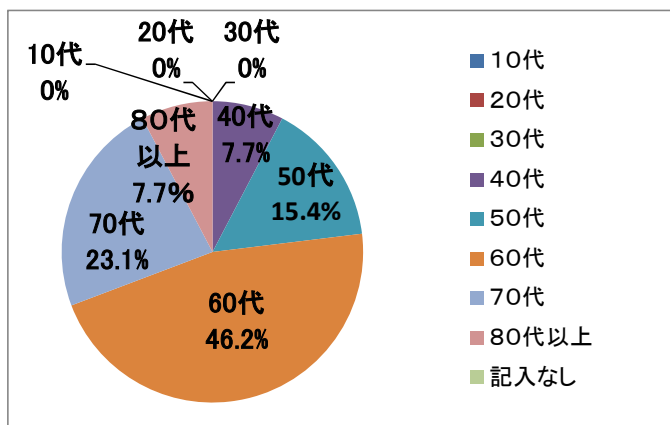


令和元年度(第25期)にいがた市民大学
後期ゼミナールアンケート結果
「農と食で地域をプロデュース」

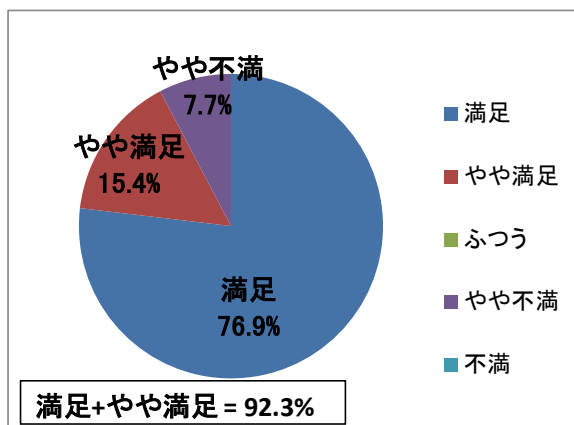
報告資料1-3

令和元年10月～令和2年1月実施 回答率: 92.8% (13/14)

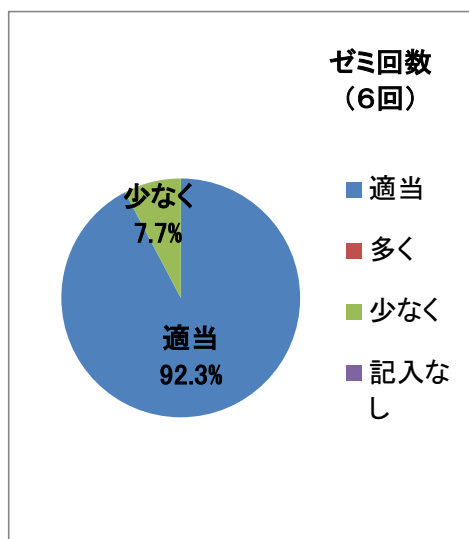
1 年代



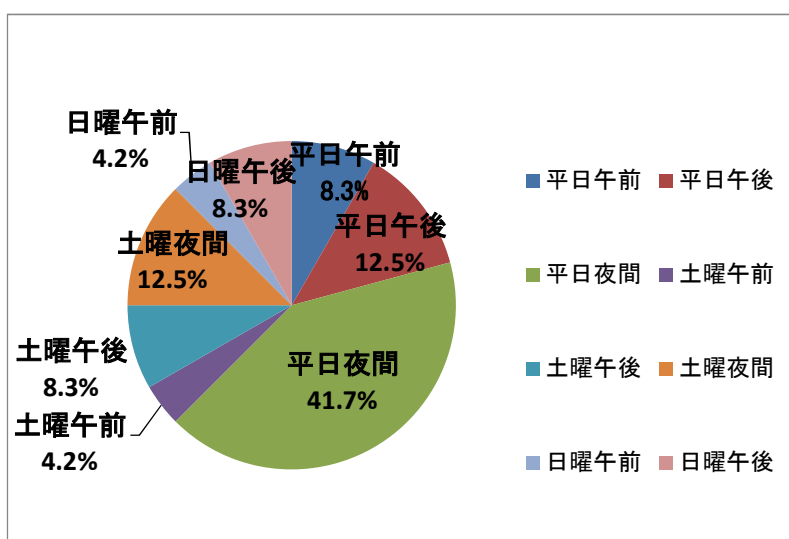
2 満足度



3 希望講座回数



4 希望開催時間帯



5 自由意見、感想

・年をまたいだ今期講座だったが、それなりに中身の濃い講座だったと思う。特に後期講座において、小生みたいなズブの素人にとっていい刺激になる内容ばかりで興味深く受講することができた。いろいろな感想については修了レポートの中で述べたいがいずれにしても、満足できる内容の講座であったことを感謝しています。健康であったら来年も期待！

・現地見学(オーガニックフェスタ、おひさま日曜日市、置賜自給圏)で外に出かけるのは楽しく、実際の現場を体感でき、頭だけで学ぶのではなく、身体で感じる学びで良かったと思う。一方、室内の座学は正直のところ、詰まらない、あまり有意義ではなかったと感じている。

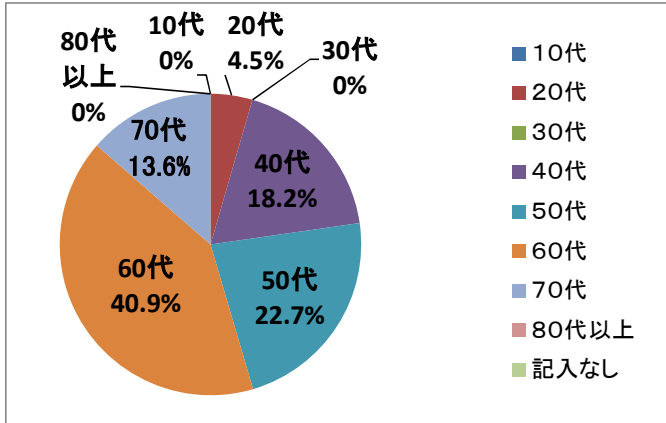
・この講座を受講して、あまりにも知らないことが多く、いくつになっても新しい知識を得ることの大切さを思い知らされました。知識を得ることが、いかに大切かを知り、残り少ない人生の時間で、何かはりあいを持って取り組めるものが見つかるの良いなと思います。次は、発酵の講座を受けて、納豆 味噌 漬物について勉強したいと思っています。

・事前の十分な詰めがなく、その場で多少ともバタバタするようなところもあった。自然農法に偏した感があつた。講座名からすれば、現状の農業のまん中をとらえたような内容を期待したのだが・・・

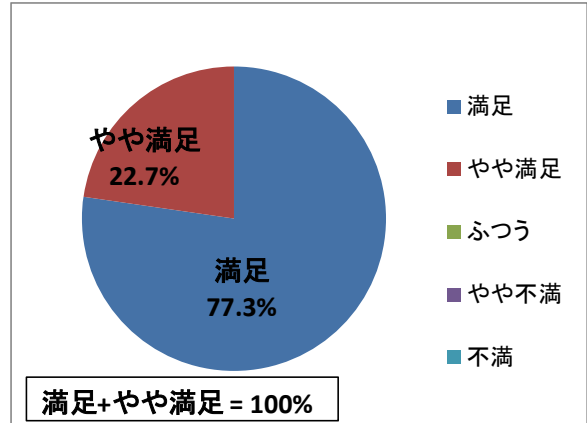
令和元年度(第25期)にいがた市民大学
後期ゼミナールアンケート結果
「日本酒学への招待」

令和元年9月～令和元年11月実施 回答率: 95.6% (22/23)

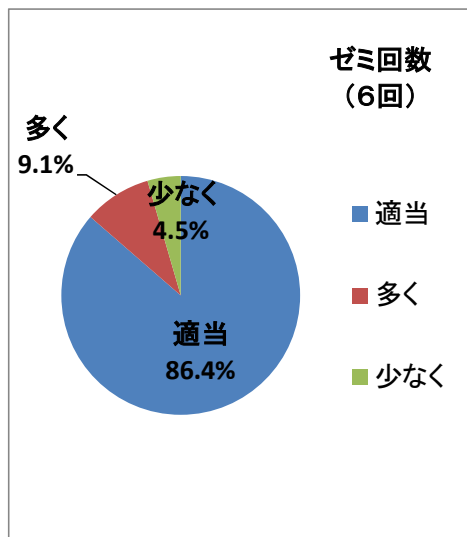
1 年代



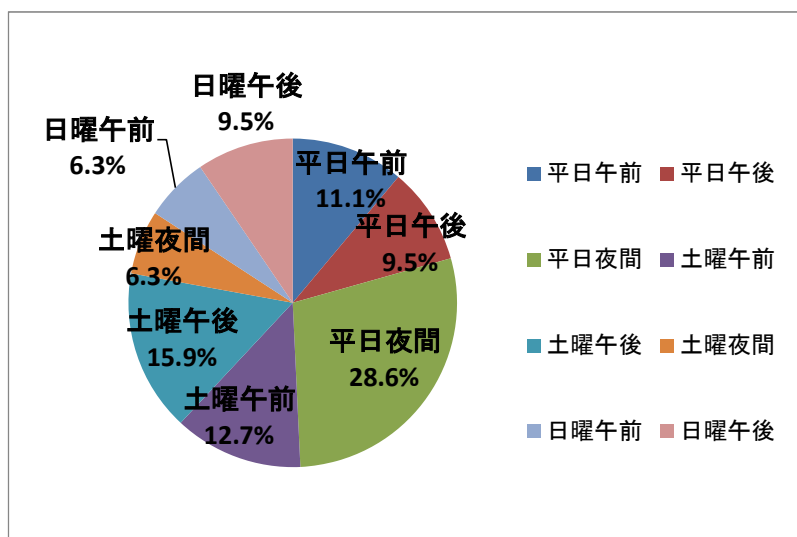
2 満足度



3 希望講座回数



4 希望開催時間帯



5 自由意見、感想

・酒蔵での講義、見学は楽しく興味深いものであった。商品管理、開発、マーケティング等の蔵元の視点をよく理解できた。菊水日本酒文化研究所の研究・展示は、これが一企業の取り組みであることに驚きを覚えた。愛飲家であるので、利き酒は大いに嬉しかったと同時に、異なる酒がそれぞれ個性的であることを改めて認識した。全体として講義主体になりがちで、グループワークや討議が少なく他ゼミ生の多様な意見を知る機会が少なかったことは残念であった。

・蔵元の話または見学実習では各蔵の酒造りに関するこだわり、思いがよく伝わった。工場見学も大変勉強になった。全て女性講師というのも、女性からの観点から酒造り・酒のかかわりについて話を聞いたので良かった。時間についてPM9:00終了は少し遅すぎるように思う。仕事帰りの方もいるので平日夜間の方が多数参加できるのではなかろうか。せめて8:30頃の終了にしてほしい。日本酒について多面から話を聞いて大変参考になりました。ありがとうございました。

・受講決定通知は当初予定通りの日時にしてほしい。遅れたために他の予定を組んでしまい欠席がちになってしまったので、次年度or時期の講座案内を早めに郵送等で行ってほしい。

・企業見学は新潟県を代表する酒蔵を見ることができて良かった。また、いくつかの蔵の蔵元がいらっしやって、酒造りの想いやご苦労話を聞くことができて大変興味深かった。